

静岡 地 区

1 研修会 市全体研修会・年間3回実施（他に支部ごと8～10回実施）

【テーマ】 生きる力と豊かな心を育む健康教育をめざして

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
1	8月 第1回市養護教諭研修会 「ゲートキーパー研修」*1	静岡市教育委員会 静岡市養護教諭研究会	*1心の健康センター 精神保健福祉課
2	10月 第2回市養護教諭研修会 「養護教諭だからできる子どもの対応」*2	静岡市教育委員会	*2常葉大学 保育学部 赤塚めぐみ氏
3	3月 第3回市養護教諭研修会 講義と支部研修報告 「養護教諭の行う保健教育の実際」*3	静岡市教育委員会 静岡市養護教諭研究会	*3横浜国立大学 教育学部 教授 物部博文氏
支部	支部ごとに、支部の研修テーマに沿った研修を計画的に行う。	静岡市校長会 静岡市養護教諭研究会	支部ごとに企画、運営し、実践集録にまとめる。

2 昨年度の研修の紹介

8月に園田学園女子大学人間健康学部総合健康学科中島敦子氏に「頭部外傷事故発生時の対応」、10月に認定社会福祉士川口正義氏に「子どもと家族の『声なき声』が問いかけること」、静岡大学教職センター准教授松尾由希子氏に「性的マイノリティの子どもたちの理解と対応」と題して講演・講義・演習をしていただいた。

3 地区での問題点・課題

静岡型小中一貫教育の取組が進み、校務支援システムも導入され、執務や働き方が変わってきている中、児童生徒を取り巻く様々な課題に対応するため、「チーム学校」としての養護教諭の役割について考え、職務を見直す研修を深めていきたい。

志 太 地 区

1 研修会 年間4回実施

【テーマ】 生涯にわたって心身共に健康で、活力に充ちた児童生徒の育成

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
1	6月 志太地区養護教諭研究会総会① 志太地区学校保健会研修会Ⅰ 「子どもに優しい学校づくり ～色が違って見える子ども達に、正しく情報を伝えるための工夫～」*1	志太地区養護教諭研究会 志太地区学校保健会	*1東京慈恵医科大学 教授 岡部正隆氏
2	7月 中学校・高校養護教諭合同研修会	志太地区養護教諭研究会	
3	8月 志太教育研究集会「学校保健部」研修会	志太地区教育協議会	
4	12月 志太地区養護教諭研究会研修② 志太地区学校保健会研修会Ⅱ 「脳脊髄液減少症について」*2	志太地区養護教諭研究会 志太地区学校保健会	*2国際医療福祉大学病院 教授 篠永正道氏

2 昨年度の研修の紹介

執務の効率化を図るため校務支援システムが導入され、学校保健においては健康診断票をはじめとしたデジタル化が進んでいる。今まで3市別々に行っていた統計処理を、昨年度はこの共通システムを活用し、志太地区学校保健統計としてまとめた。

3 地区での問題点・課題

校務支援システムも、3市で活用状況が異なったり、活用を進める中で課題も生まれてきたりしている。地区全体での研修時間は限られているが、今後も連携を深め、養護教諭の資質を高めていきたい。

榛 原 地 区

1 研修会 年間4回実施

【テーマ】 しなやかに人とかかわりながら前向きに生きていこうとする子～保健室からのアプローチ～

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考 (講師・運営)
1	6月 総会及び第1回全体研修会 研修計画, 執務研修, グループ研修	榛原地区養護教諭研究会	
2	10月 学校保健部執務研修会 講話※1	榛原地区教育協会学校保健部	※1 埼玉大学 教授 田代美江子氏
3	10月 第2回全体研修会 講話※2, グループ研修	榛原地区養護教諭研究会	※2 静岡大学 非常勤講師 山口久芳氏
4	2月 第3回全体研修会 執務研修, グループ研修	榛原地区養護教諭研究会	

2 昨年度の研修の紹介

8月の研修会では榛原総合病院看護師吉田佳代子氏に「がんに関する基礎知識」, 10月の研修会では静岡赤十字病院救急科部長中田託郎氏に「学校における救急対応法」について講話をしていただいた。養護教諭としての資質を高めるための研修となった。

3 地区の問題点・課題

若年層の養護教諭が年々増えているため, 地区全体での共通理解と連携がより一層重要になっている。限られた時間の中で, 執務の質を高められるような研修を行いたい。

小 笠 地 区

1 研修会 年間3回実施

【テーマ】 (1) 健康教育推進者としての力量を高め, 専門性, 独自性を活かした資質の向上に努める。
(2) 小笠地区養護教諭研究会の組織の活性化を図る。

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考 (講師・運営)
1	6月 第1回全体研修会 研修計画・顧問校長講話※1	小笠地区養護教諭研究会	※1 小笠地区養護教諭研究会 顧問校長 太田友江氏
2	8月 第2回全体研修会 「育成と連携 ～養護教諭の資質向上 を目指す～」※2	小笠地区養護教諭研究会	※2 浜松医科大学大学院 助産学分野教授 武田江里子氏 掛川東病院理学療法士 名倉達也氏
3	11月 学校保健研究部一斉研究報告会 「自分の体と主体的に向き合う子どもの 育成 ～小中9年間を通した健康教育～」 ※3	小笠教育研究協会 学校保健研究部	※3 一般社団法人 おもしろ健康教研究所 副所長 高橋佐和子氏

2 昨年度の研修の紹介

子どものこころの診療所臨床心理士淵野俊二氏, 重野桂氏「発達特性のある子への学校での対応～傷つきやすい子どもたち～」, 掛川東病院理学療法士名倉達也氏「けがの予防と対策」, 磐田市立総合病院緩和医療科医師中澤秀雄氏, 臨床心理士川村久子氏「自分の体と主体的に向き合う子どもの育成～がん教育を通して～」の講話を実施した。養護教諭の資質を高めるための研修となった。

3 地区での問題点・課題

年齢構成の変化に伴い, 年齢や経験を越えたつながりが必要となってきた。会員相互の連携を図り, 地区全体で養護教諭の資質向上を目指した研修を行い, 組織としての向上に努めたい。

磐 周 地 区

1 研修会 年間4回実施 (他に研修5回実施)

【テーマ】 こころざしをもって、たくましく生きる力を育てる健康教育
～「縦の接続」「横の連携」による取組～

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考 (講師・運営)
1	6月 第1回養護教諭研修会 県学校保健研究大会の実践発表について	磐周学校保健会	
2	8月 学校保健部研修会 校区ポスター発表	磐周教育研究会	
3	8月 第2回養護教諭研修会 校区ポスター発表, 校区研修, 交流研修 講演「健康教育の実践と評価の方法」※	磐周学校保健会	※東京学芸大学 教育学部養護教育講座
4	3月 第3回養護教諭研修会 (実技研修)	磐周学校保健会	教授 渡邊正樹 氏

2 昨年度の研修の紹介

中学校区での実践を進めるとともに、29,30年度の取組を研修収録「あゆみ」やポスターにまとめ、部内発表とディスカッションを行った。中学校区の実践内容を新たな視点で再検討し、目標とそこからつながる結果や成果といった評価指標設定の様々な方法を知ることができた。また、実技研修では、鍼灸指圧マッサージ治療院院長の村田隆郎氏から「学校現場における外傷に対する考え方と応急処置」の講話を聞き、アイシングの実技を学んだ。

3 地区での問題点・課題

児童生徒の行動変容の様子や実践活動の成果を、どのように評価するのかといった評価方法及び評価指標の設定には学ぶ事が多く、さらに研修を深めていきたい。

湖 西 地 区

1 研修会 年間9回実施

【テーマ】 これからの学校保健のあり方

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考 (講師・運営)
1	6月 養護教諭研修会 (健診票電子化マニュアル等)	湖西市教育会	
2	講演会「学校における危機管理」※ ¹	湖西市学校保健会	※ ¹ 岐阜大学地域科学部 教授 近藤真庸 氏
3・4	6・7月 養護教諭研修会 (健康診断のあり方について)	湖西市教育会	
5	7月 養護教諭研修会 (特別支援の事例検討)	湖西市教育会	
6	保健主事・養護教諭合同研修会 ※ ²	湖西市教育会	※ ² 天竜特別支援学校
7	11月 養護教諭研修会 (学校保健の問題点について)	湖西市教育会	教諭 田中綾子 氏
8	1月 学校保健 (養護教諭部) 研修会 (情報交換)	湖西市学校保健会	
9	2月 養護教諭研修会 (次年度に向けて)	湖西市教育委員会	

2 昨年度の研修の紹介

健康診断票電子化に向け磐田市より講師をお招きし、具体的な準備や注意点について学んだ。それを受け、研修会で何度も検討を重ねて『健康診断票作成マニュアル』を作成し、今年度から活用している。栄養士との合同研修会では食物アレルギーの事例検討や市内統一の対応について話し合ったことで、面談記録用紙の統一及び面談時のポイントを明確にできた。

3 地区での問題点, 課題

今年度から始まった耳鼻科検診の振り返りをするとともに、各種マニュアルの修正を進め、スムーズな執務につなげたい。また、個別支援が必要な児童生徒への関わりについて引き続き学んでいきたい。

浜 松 地 区

1 研修会 年間11回実施

- 【テーマ】 (1) すこやかな心と体 大切な命
 (2) 養護教諭の資質向上を目指して

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考 (講師・運営)
1	4月 教育研究協議会	浜松市教育研究会	
2	5月 第1回ブロック別研修会(養護教諭部)	浜松市教育研究会	
3	5月 第1回研修会(保健主事養護教諭合同)	浜松市教育研究会	
4	7月 養護教諭研修会 「子どもの心に響く、行動科学を生かした保健教育 -自己実現に向けたよりよい行動変容を目指して-」 ※1	浜松市教育委員会	※1 埼玉大学教育学部 教授 戸部秀之氏
5	7月 第2回研修会(保健主事養護教諭合同)	浜松市教育研究会	
6	8月 第2回ブロック別研修会(養護教諭部)	浜松市教育研究会	
7	8月 養護教諭部研修会(講演と分科会別研修) 「食物アレルギーについて」※2	浜松市学校保健会	※2 浜松医療センター 小児科 西田光宏氏
8	10月 養護教諭研修会 「学校保健計画に位置付けたがん教育の実施に向けて -これまでの養護実践を生かした取組み-」※3	浜松市教育委員会	※3 静岡大学教育学部 教授 鎌塚優子氏
9	11月 第3回ブロック別研修会(養護教諭部)	浜松市教育研究会	
10	11月 第3回研修会(保健主事養護教諭合同)	浜松市教育研究会	
11	3月 養護教諭研修会	浜松市教育委員会	

2 昨年度の研修の紹介

養護教諭部研修会では、浜松医療センター小児科の佐野伸一朗氏を講師に迎え、「成長障害へのアプローチ」をテーマに講話をしていただいた。小児の成長評価、乳児期、学童期、思春期それぞれの成長曲線の見方及び医療につなげる見方のポイント等について学んだ。

3 地区での問題点・課題

今後に向けた組織の在り方や若手育成等が課題である。組織会則検討委員会や研究推進委員会を設けて検討を重ね、専門性を持つ養護教諭としての資質能力の向上を目指し、研修の充実に努めている。

